

高齢者在宅支援課

【既定】	日常生活支援サービス	予算額	51,186千円
【既定】	地域認知症ケアの推進	予算額	1,115千円
【既定】	認知症予防検診	予算額	6,006千円
【特会】	認知症総合支援	予算額	9,809千円

事業の目的・概要

認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられるよう、認知症理解の普及啓発を行うとともに、認知症の予防や早期発見・早期対応ができるよう取り組みます。また、認知症の方が社会の一員として尊重される地域づくりを推進します。

主な取組内容

- **高齢者補聴器購入費助成** **新規**

高齢者が安心して補聴器を購入し装用する契機とし、認知症予防の一助とするため、高齢者補聴器購入費の一部を助成します。
- **認知症介護研究・研修東京センター*との連携** **新規**

認知症になっても希望をもって安心して暮らせるよう、認知症介護研究・研修東京センターと協定を締結し、認知症サポーター養成講座や区民向け講演会の実施など普及啓発を行うとともに、認知症の本人やその家族のニーズに合わせた支援ができるよう、地域ごとに「チームオレンジ」の育成に取り組み、認知症を理解し支え合う地域づくりを一層推進していきます。

※ 認知症介護研究・研修東京センター…厚生労働省が設置し、認知症介護指導者等の育成、認知症介護や地域支援体制づくりに関する実践的研究を行っている
- **認知症相談の充実**

地域包括支援センター（ケア 24）において、認知症サポート医が認知症に関する困りごと等の相談に応じる物忘れ相談を実施し、認知症の早期診断・早期対応につなげます。また、若年性認知症相談窓口の周知を図り、関係機関と連携し、若年性認知症の方への相談支援を充実していきます。
- **認知症予防検診**

認知症の早期診断・早期対応の必要性や予防について、正しい知識の普及啓発を図ります。また、認知症の前段階である軽度認知障害の方を早期に発見し、適切なフォローを行うことにより、認知症の発症を防ぐ・遅らせることを目的として、認知症予防検診を実施します。
- **認知症初期集中支援チームによる相談・支援**

多職種からなる「認知症初期集中支援チーム」が、認知症が疑われながらも自ら受診することが困難な方や、対応に苦慮している家庭などを訪問し、生活状況や認知症機能等の把握・評価を行い、必要な医療・介護の導入や調整、家族支援などを包括的、集中的に行います。